

「夢実現」に向けて

校長 大嶺 哲司

あなたは、将来の夢が決まっていますか？将来、どのような仕事をしたいですか？

将来の夢が明確に決まっている方は、それに向けてどのようなルートで進みますか？

高校卒業後の目標が決まっている生徒にも、まだ決まっていない生徒にもヒントや手助けになるひとつがこの「進路の手引」です。

経営の神様と呼ばれた松下幸之助は、松下電器産業（現パナソニック）を創業し、一代で世界的な電機メーカーに成長させた人物です。彼は実に様々な言葉を残していますが、その中に「なんとしても二階へ上がりたい。どうしても二階へ上がろう。この熱意がハシゴを思いつかせ、階段をつくり上げる。上がっても上がらなくてもと考えている人の頭からは、決してハシゴは生まれません。」と思います。

これは、何かを成すためには、それに果敢に取り組むための「情熱・熱意」が必要であり、これなくして物事は大成しない、ということの意味しています。技術者でもあった松下幸之助は成功の第一の条件に「熱意」を挙げていましたが、熱意があれば知恵が生まれ、目標に向かうための原動力となっていくと説きました。いかに才能があっても、知識があっても、熱意の乏しい人は「絵に描いた餅」に等しいと考えていたようです。

高校は、自分の将来の夢(大志)を実現する土台づくりの場であります。そのためには「情熱・熱意」をもって、何事にも挑戦することが大切であります。そのために次のことを実践しましょう！

1 自分の将来をイメージしてみる

好きな学問、好きな職業、そこから将来の自分をイメージしてください。理想的職業人の姿は、広い教養と深い専門的知識を持った人間であるはずですが、新しいことにチャレンジできる人間、意欲ある人材を社会は求めています。

2 目標を立て具体的行動計画を練る

具体的な進学や就職先を考えてみましょう。目標のレベルと現在の自分の力との差を客観的に認識し、苦手科目の克服や必要な資格取得等を具体的に目指すことが大切です。孫子の兵法にも「敵を知り己を知れば百戦危うからず」とあります。

3 進路選択のため勉強と真の学問としての勉強は一致する

進路選択のための準備や勉強は付け焼き刃とせず、真の実力を蓄えるために活用してください。幅広い教養、読解力、考える力、何より学ぶ意欲は、本質的な学力を高めるものです。本気で学んだことは一生のものとして身につくものです。基礎の勉強をしっかりとできるのは、今しかないのです。

4 最終的に進路を決めるのはあなた自身

一人一人の人生に正解はありません。進路を選択するには十分に検討しましょう。どの道に進むとしても最後に決断するのは、あなた自身でなければなりません。そして、その進路を実現できるように精一杯努力してください。進路が実現できたら、その進路が自分にとって正解だったと言えるように一日一日を過ごして欲しいと思います。自分自身に真剣に向き合って決めたことなら後悔はないはずです。頑張らしましょう。

本誌「進路の手引」は、講座等の年間計画、模擬試験の活用法などのガイダンス編、進学編、就職編、奨学金制度、先輩方の合格体験記などの資料編と内容豊富な冊子となっています。

進路を決めていくことは、重要であるだけに大いに悩み迷うことだと思います。自分の力で解決できない壁に当たったら担任や進路指導部など先生の力を借りて下さい。全教職員が生徒一人ひとりの大きな「夢実現」のために全力で支援していきます。

コザ高等学校で学んで逞しく成長し、高い志が実現することを期待しています。「進路の手引」を有効活用することを期待して発刊の言葉といたします。